

# 国産AIの最前線：Preferred Networks「PLaMo」ファミリーと垂直統合戦略

## PLaMo 2.0/3.0 の技術的イノベーション

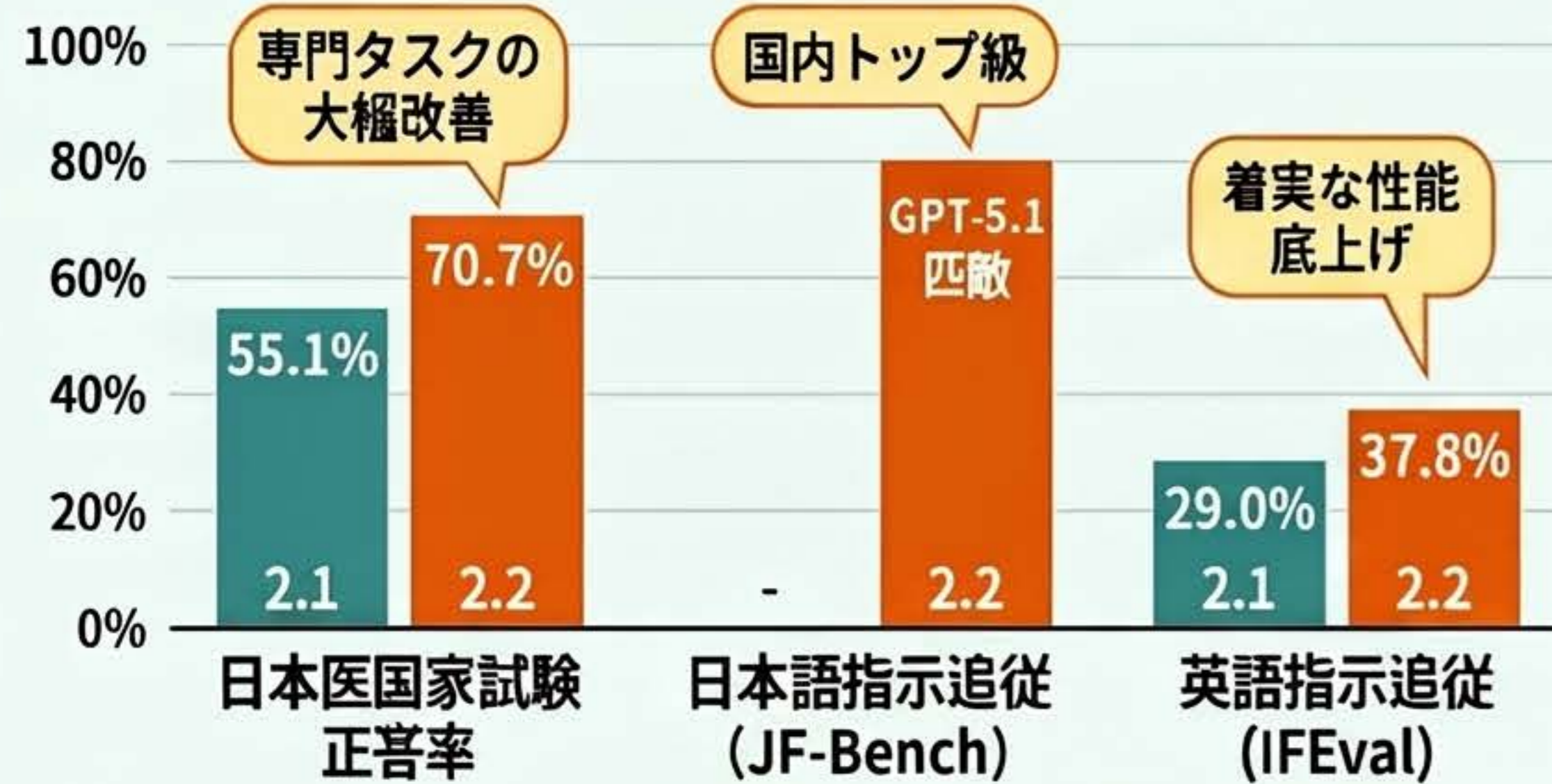


ゼロから組み上げる「フルクラッチ」開発  
海外の公開モデルをベースにせず、設計から学習までを完全に自前で行うことで、既存モデルの制約に縛られない最適化を実現。



ハイブリッド構造「3K」による高速化  
状態空間モデル（Mamba等）とスライディングウィンドウアテンションを組み合わせ、毎秒76文字という旧世代2倍以上の生成速度を達成。

## PLaMo 2.2 プライムの性能向上を示す比較データ

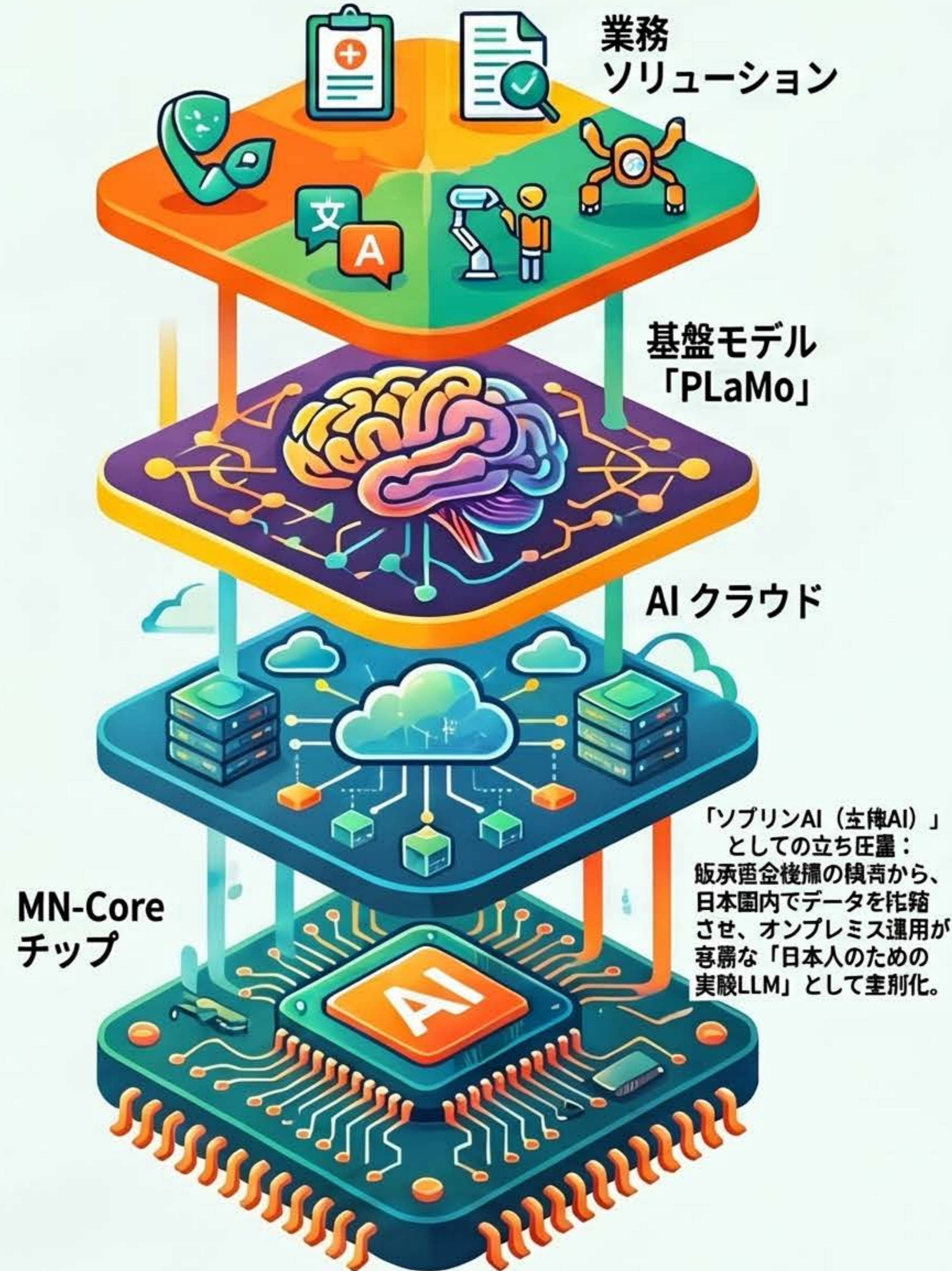


## PLaMo 3.0：国産初の「考えるAI（推論モデル）」



2026年3月にB版公開。  
即答せず論理的に段階を踏んで結論を出す思考プロセスを備え、文脈長も6.4万トークンへ拡張。

## 垂直統合（フルスタック）戦略： チップからアプリまでを貫く4層構造



## 用途で使い分ける「PLaMoファミリー」



**PLaMo 翻訳 (Translate)**  
文脈把握に優れた8B専用モデル。学術論文や物語など分体に応じた訳し分けが可能で、プライバシーに配慮した設計が特徴。



**PLaMo API**：従来比1/4以下の低価格  
入力100万トークンあたり60円という構造的な価格設定により、開発者がビジネスに組み込みやすい環境を構築。



**PLaMo Lite**：エッジデバイス特化型  
10倍パラメーター（1B）の小型モデル。クラウドを介さずロボットや自動車などのハードウェア上で高速動作し、機密情報を外に出さない運用が可能。

## リーダーシップとビジョン



岡野原大輔社長（天才的なデータ圧縮の神重と呼ばれた背景を持つ）のミッション：  
「現実世界を計算可能にする」



**産業界・政府との強力な同盟**  
トヨタ、ファナック、SBI、政府系金融などの日本主要産業が後ろ盾となり、国家的な戦略的自立性を支えるディープテック企業として成長。